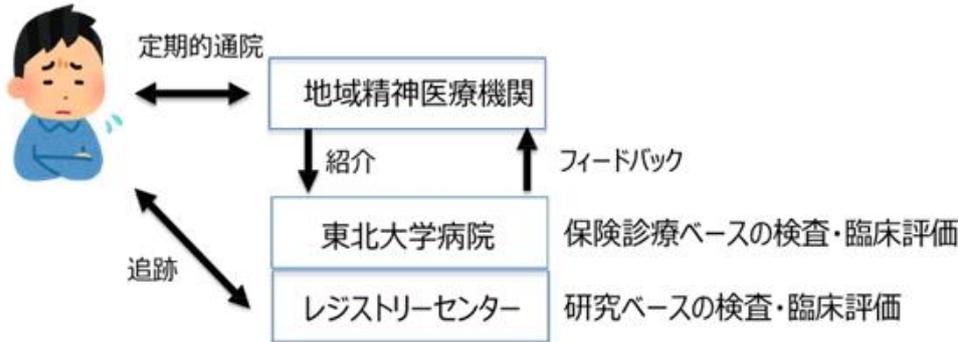
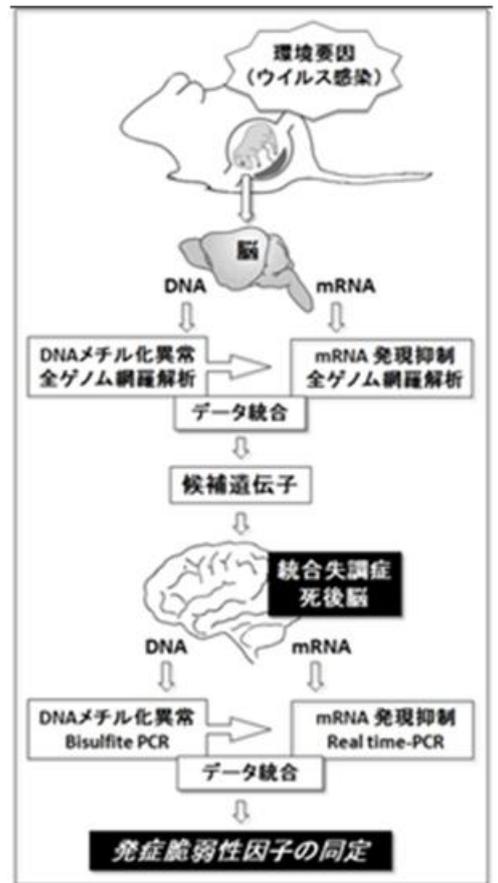


精神科

当研究室では、精神疾患コホート研究、周産期精神医学研究、児童精神医学研究、早期精神病研究、リエゾン精神医学研究、認知行動療法研究、災害精神医学研究、神経科学・分子精神医学研究など、精神医学全般に関して幅広く研究を行っています。

東北大学は 2017 年に世界最高水準の教育研究活動の展開を行う指定国立大学法人に指定されるに至った最先端の教育・研究基盤を有しています。我々は、東北大学病院個別化医療センター、東北大学未来型医療創成センター、東北大学災害精神医学分野、東北メディカルメガバンク機構など学内機関との連携を強化し、将来的には精神疾患コホート研究によって得られたビックデータを生かし、AI 技術を駆使して精神疾患の個別化治療に結び付け、本研究成果を患者さんに還元することを目指します。

ここに示しているものは研究内容の一部です。詳しく知りたい方は、研究室の HP をご覧下さい！ <https://www.psy.med.tohoku.ac.jp/>



研究活動

臨床から発展した研究や、大規模調査の周産期関連データの解析を行っています。

■エコチル■

環境省実施の大規模調査
妊娠中～児が13歳まで、母子の健康状態を調査し、環境要因と児の成長・発達の関連を調べる。全国で約10万人(組)、宮城ユニットセンターで約1万人が参加。
→各時期の抑うつ指標データがあり、周産期うつサブカテゴリー化の試みや、ホルモンとの関連を解析中。

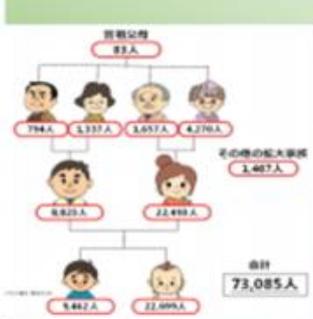
子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)



環境省 エコチル調査 <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/>
エコチル調査宮城ユニットセンター <http://www.eco-muc.med.tohoku.ac.jp/>

■三世代コホート(東北メディカル・メガバンク事業)■

東北メディカル・メガバンクの長期健康調査



妊婦とその家族(三世代)の疾患、体質、生活習慣、遺伝子情報を解析している。児が5歳まで追跡調査予定。

→一代にまたがるデータ、児の発達に関する情報、家系情報を伴った遺伝情報などが含まれ、周産期の精神疾患と素因や児への影響との関連について検討中。

東北メディカル・メガバンク事業三世代コホート <https://www.megabank.tohoku.ac.jp/3gen/>

■七ヶ浜コホート■

災害科学国際研究所災害精神医学分野による、ケアミックスの健康調査

自治体と東北大学の共同事業『七ヶ浜健康増進プロジェクト』の一環として、東日本大震災直後より精神保健の普及啓発活動や継続的な被災者健康調査、およびそれに基づいた支援活動を実施。

→周産期に被災する妊産婦の支援ニーズや心理サポートについて研究中。



災害科学国際研究所災害精神医学分野 <http://www.irides-dpsy.med.tohoku.ac.jp>